



奈良女子大学 (奈良県)

附属学校園との連携による実践的指導及び研究テーマに対応した少人数教育の徹底

◇大学紹介

①大学の概要

本学は、1908年に創設された奈良女子高等師範学校を前身としており、2019年5月には創立110年を迎えました。この間我が国における女性の最高教育機関としての役割を担ってきました。

キャンパスは歴史的遺産の宝庫である奈良市中心部の交通至便な場所に位置します。文学部、理学部、生活環境学部、工学部の4学部を擁し、文系理系がバランス良く配置されています。また、高度な教育研究を担う大学院人間文化総合科学研究科は、文理融合の学際的な研究を特色としています。小規模ながらも個性ある教育・研究を推進することを目指しています。教員数は約200名、学生数は2,600名であり、きめ細やかな少人数教育が特徴です。

また、本学は、基本理念の一つとして、「開かれた大学—国際交流の推進と地域・社会への貢献—」を掲げており、国際戦略センターを中心に様々な取り組みを行っています。2023年5月1日現在、アジアを中心に54の大学と協定を締結しており、約130名の留学生が在籍しています。

②国際交流の実績

- 過去3年間の留学生の受入れ実績
2023年度：129名（2023.5.1現在）
2022年度：134名（2022.5.1現在）
2021年度：153名（2021.5.1現在）
- 過去3年間の教員研修留学生の受入実績
2023年度：0名（2023.5.1現在）
2022年度：0名（2022.5.1現在）
2021年度：0名（2021.5.1現在）

◇教員研修コースの概要・特色

①研修コースの特色

- ・受入れ学部・研究科は、文学部、人間文化総合科学研究科
- ・教育学・人間学コースの教員と連携を取って指導
- ・少人数のゼミと個別的な指導
- ・附属幼稚園、小学校、中等教育学校との連携や近隣諸学校の協力による実践的指導

②受入定員 3人

③奨学金支給期間 2024年10月～2026年3月

④コースの修了要件

概ね28単位の講義・演習を受講し、最終試験に合格することが必要。

⑤研修コースの概要

基本的には半年間の日本語予備教育の後、1年コースに参加。日本語能力試験N2レベル以上であると認められる場合、日本語予備教育を受けず、1年半コースで受入れます。

- ・日本語教育
 - ・日本語コース実施機関で半年間の予備教育を受ける。
 - ・本学入学後は、本学開設の日本語科目の授業（初級～上級）の受講が可能。
 - ・日本語その他（専門教育分野の事項）の補助的指導を受けられるチューター制度あり。
 - ・ビジネス日本語の受講が可能。
- ・専門教育
 - 【1年コース】もしくは【1年半コース】
 - ・研究テーマに応じた個別的な指導を行う。
 - ・講義、演習科目も受講できる。
 - ・実習・見学・地域交流等の参加型科目
 - ・附属校園での実践的研究
 - ・その他
 - 留学生を対象に、生け花教室や茶道体験教室など、日本文化を体験する機会を提供しているほか、留学生と日本人学生の交流事業や研修旅行も実施しています。

◇修了生へのフォローアップ

- ・Eメールによる相談
- ・卒業修了留学生向けメールマガジンによる情報提供

◇宿 舎

【国際交流会館、国際学生宿舎】

専門教育期間中は、空室があればどちらかに入居することができます。

○宿舎数

- ・単身用 国際交流会館36室、国際学生宿舎32室
- ・夫婦用 国際交流会館1室
- ・世帯用 国際交流会館1室

○宿舎費

- ・国際交流会館(単身室):家賃5,900円/月、退去時清掃費及び光熱水費等20,000円(入居時)
- ・国際学生宿舎:家賃4,700円/月、清掃費8,000円(退去時)

※どちらの宿舎も共益費、光熱水費が毎月別途必要

○宿舎設備・備品

どちらの宿舎もベッド、机、イス、本棚、クローゼット、トイレ、バス完備。キッチン、洗濯室は共用。

○宿舎周辺の生活情報、通学時間

国際学生宿舎・国際交流会館は大学から徒歩5分以内のところにあり、どちらも通学に便利です。最寄り駅からも徒歩5分程度で、駅周辺には店も多く、生活にも便利なところです。

◇問合せ先

担当部署:奈良女子大学国際課留学生係
連絡先:〒630-8506 奈良市北魚屋東町
Tel: 0742-20-3240 Fax: 0742-20-3309
E-mail: ryugakusei@cc.nara-wu.ac.jp
URL: <http://www.nara-wu.ac.jp/>

大学名：奈良女子大学(大学番号34)

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	文学部・人間文化総合科学研究科						受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語		
34001	藤井 康之	yakororin@yahoo.co.jp	音楽教育	音楽教育に関する指導	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校教員 <input checked="" type="checkbox"/> 中高教員 <input type="checkbox"/> その他()	日本語	計3人	大学での講義等が理解できる専門的基礎知識、英語能力必須
34002	小野寺 香	onodera@cc.nara-wu.ac.jp	教育学	比較教育学に関する指導	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校教員 <input checked="" type="checkbox"/> 中高教員 <input type="checkbox"/> その他()	日本語		大学での講義等が理解できる専門的基礎知識、英語能力必須
34003	柳澤 有吾	y-yanagi@cc.nara-wu.ac.jp	倫理学	倫理学の理論と応用に関する指導	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校教員 <input checked="" type="checkbox"/> 中高教員 <input type="checkbox"/> その他()	日本語		大学での講義等が理解できる専門的基礎知識、英語能力必須
34004	鈴木 康史	kosuzu@cc.nara-wu.ac.jp	人間文化学	身体の文化学的研究に関する指導	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校教員 <input checked="" type="checkbox"/> 中高教員 <input type="checkbox"/> その他()	日本語		大学での講義等が理解できる専門的基礎知識、英語能力必須
34005	保田 卓	tyasuda@cc.nara-wu.ac.jp	社会学	教育社会学に関する指導	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校教員 <input checked="" type="checkbox"/> 中高教員 <input type="checkbox"/> その他()	日本語		大学での講義等が理解できる専門的基礎知識、英語能力必須
34006	二井 仁美	tyasuda@cc.nara-wu.ac.jp	教育学	教育史に関する指導	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校教員 <input checked="" type="checkbox"/> 中高教員 <input type="checkbox"/> その他()	日本語		大学での講義等が理解できる専門的基礎知識、英語能力必須

※「研修の対象者」は該当する方(両方に該当する場合は両方)に☑を付けてください。